

Simple mail [シンプルメール]

## 導入ドキュメント（GoogleWorkspace 編）

---

[メールリレーの設定方法] ver.1.8

# Google Workspace のメールリレー設定

## 本ドキュメントについて

---

Simple mail をご利用頂くにあたりメールリレーの設定方法を記載しております。

なお、G Suite でのメール送信設定が完了しているお客さまを対象としております。

G Suite の独自ドメインおよび基本メール設定につきましては、Google 社へ

お問い合わせください。

<https://workspace.google.com/intl/ja/>

## 接続形式について(メールリレーとは?)

---

メールリレーとは、メールをあるサーバーから別のサーバーへ転送することです。

例えば、ある会社 A の人が会社 B の人にメールを送る場合、通常メールは会社 A の SMTP サーバーから、会社 B のサーバーに送信されます。何らかの理由で、会社 A のサーバーから会社 B のサーバーに直接送信できない場合、会社 A、会社 B どちらのサーバーとも通信できる サーバー X を介して、メールを転送します。このように、特定のサーバーが別のサーバーからメールを受け取り中継することを「メールリレー」と呼びます。

## GoogleWorkspace とは？

---

GoogleWorkspace とは Gmail、 Google ドライブをはじめとする Google の提供するウェブベースのアプリケーションパックです。

## メールサーバーの設定の前に確認すること

---

### シンプルメール側の設定

シンプルメール側で、利用予定のドメインが追加されていることをご確認ください。

### メールサーバー側の設定

以下、メールリレー設定を行いますと、その時点より「シンプルメール」のメールサーバー経由でのメール配信となります。

初期設定値等、シンプルメールのコントロールパネルを一度ご確認くださいの上で、設定をお願いいたします。

また、各設定については編集前の設定内容を記録しておくことを**強く**お勧めいたします。

## 設定方法基本編

---

### 検証環境

GoogleWorkspace

### 設定方法

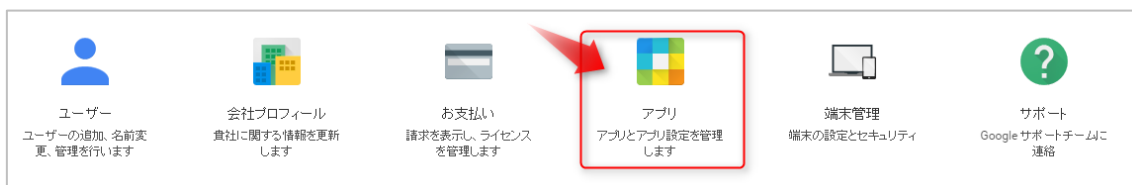
#### 1. GoogleWorkspace へのログイン

下記いずれかの URL から GoogleWorkspace へのログインを行なってください。

<https://accounts.google.com/>

#### 2. アプリ選択

アプリアイコンを選択します。



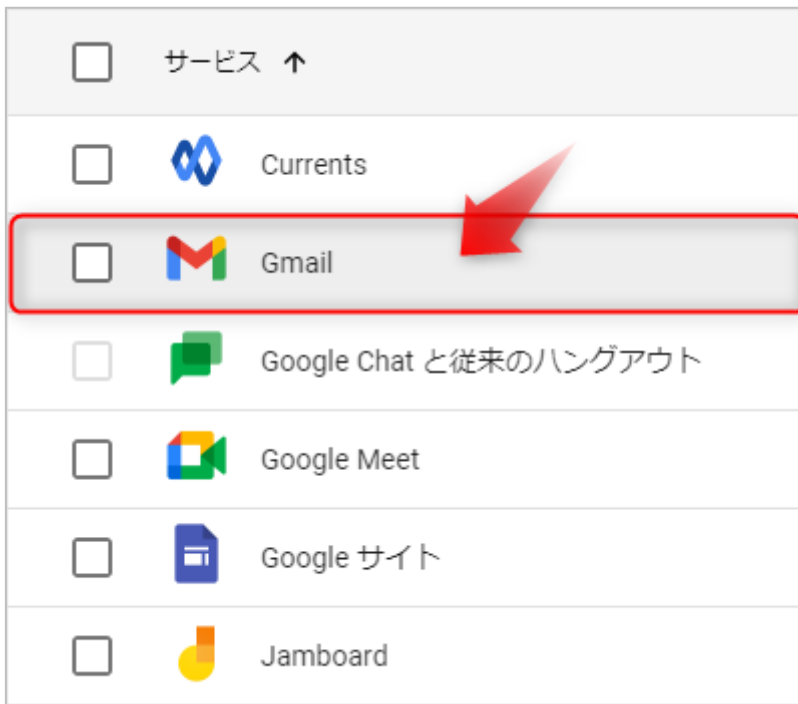
### 3. G Suite 選択

Google Workspace アイコンを選択します。



### 4. Gmail 選択

Gmail を選択します。



## 5. ホスト選択

ホスト項目を選択します。



## 6. ホストヘルートの設定

「ルート追加」を選択します。



メールのルートを追加ポップアップで以下の項目を入力します。

- ・「名前」：simplemail
- ・「単一のホスト」
- ・「ホスト名または IP を入力」：mail.simplemail.jp : 25
- ・「オプション」：下記オプション 4 点をチェック

「ホストで MX ルックアップを実行する」

「メールの送受信時にセキュリティプロトコルで保護された (TLS) 接続を必須とする」

「CA の署名済み証明書を必須とする」

「証明書のホスト名を検証する」

- ・保存

メールのルート編集

名前 詳細

simplemail

このフィールドは必須です。

1. メールサーバーの指定

番号が 25、587、1024~65535 のポートのみ使用できます。

単一のホスト ▼

mail.simplemail.jp : 25

2. オプション

- ホストで MX ルックアップを実行する
- メール送受信時にセキュリティプロトコルで保護された (TLS) 接続を必須とする (推奨)
- CA の署名済み証明書を必須とする (推奨)
- 証明書のホスト名を検証する (推奨)

[TLS 接続をテスト](#)

キャンセル 保存

## 7. 詳細設定の選択

「Gmail の設定」画面から「詳細設定」を選択します。



8. 全般設定よりルーティングの「設定」ボタンを選択します。



設定を追加ポップアップで以下の内容を入力します。

- ・ 「設定の概要」に任意の概要を入力
- ・ 「影響を受けるメール」：送信をチェック



- ・ 「ルート」 -> 「ルートを変更」 をチェック、  
「通常のルーティング」 から 「simplemail」 へ変更
- ・ 設定を追加

設定を追加

ルーティング [ヘルプ](#)

simplemailへの転送

1. 影響を受けるメール

- 受信
- 送信
- 内部-送信
- 内部-受信

2. エンベロープフィルタ

- 特定のエンベロープ送信者にのみ適用する
- 特定のエンベロープ受信者にのみ適用する

3. 上記の種類メッセージに対しては、次の処理を行います

メッセージを変更 ▾

ヘッダー

- X-Gm-Original-To ヘッダーを追加
- X-Gm-Spam ヘッダーと X-Gm-Phishy ヘッダーを追加
- カスタム ヘッダーを追加

件名

- 件名の先頭に追加するカスタム テキスト

ルート

- ルートを変更
- 迷惑メールのルートも変更する
- この受信者からのバウンスメールを送信元に送信しない

simplemail

通常のレーティ

エン

- エンベロープ受信者を変更

迷惑メール

- このメッセージには迷惑メール フィルタを適用しない

添付ファイル

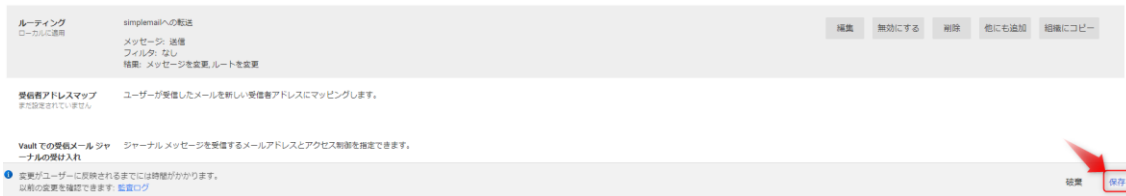
- メッセージから添付ファイルを削除

その他の送信先

キャンセル [設定を追加](#)

ページ下部の「保存」を選択します。

1 時間ほどで設定が反映されます。



## 注意点

---

- 1.本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- 2.本書の内容については、予告なしに変更される場合がございますのでご了承ください。
- 3.本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万が一不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたらご連絡ください。
- 4.運用した結果の影響につきましては 3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 5.本サービスがお客様により不適當に使用、本書の内容に従わずに取り扱いされた場合の損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。